

当院における患者医療図書サービスの企画から開設まで

患者医療図書サービスマニュアル作成と共に歩んで

大沼由紀子

株式会社 日立製作所 日立総合病院 図書室

背景：病院図書室研究会による研究グループでは、2001年より2年間にわたり病院図書室担当者として患者に対する文献情報・図書サービスへのかかわり方について」を研究してきた。その研究を通して、患者への医療図書サービスの必要性を強く感じたが、株式会社 日立製作所 日立総合病院（以下当院）では、まだ患者図書室は設置されていなかった。2003年4月当院施設内での茨城県地域がんセンタの開設に伴い、患者図書室の設置を希望したが、具体的には至らなかった。

経過：病院図書室研究会による2004年3月発行の「患者医療図書サービスマニュアル - 医療情報を中心とした患者図書室」の作成に関わる一方で、当院においても患者医療図書サービスを具体的にしたいと考え、マニュアルの作成と並行しながら、開設の準備をすすめた。患者医療図書サービス開設の提案から、院内での開設許可、開設場所の交渉、委員会設立など開設に至る経過と現状を報告する。

目的：図書室担当者から病院管理者への働きかけにより、患者やその家族が、病気や治療などに対する医療情報を入手できるような「患者医療図書サービス」を開設するきっかけを作る。

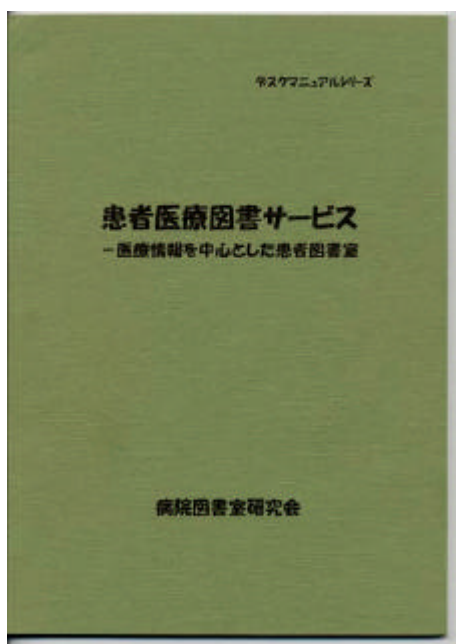


図1 患者医療図書サービスマニュアル



図2 患者図書室開設についての提案書